



- BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) とは、病院外・病院前での妊産婦救急を想定した、産科に関する基礎的なトレーニングコースです。
- このコースは、日頃産科医療に携わっていないが、妊産婦の救急場面や車中分娩に遭遇することがある方々、救急隊(救急救命士・救急隊員)、救急医、家庭医、看護師あるいは小児科医(新生児科医)の方々を対象とし、レクチャーと少人数グループによるマネキンを使用した妊婦の評価方法、分娩介助、新生児蘇生、産後大出血、妊婦蘇生等について実習を行います。
- コースは、1日で最後に筆記試験と実技試験に合格すると米国家産科医学会(AAFP)とALSO Japanより5年間有効な認定証を受けることが出来ます。(今回は暫定的に2日間です)
- 札幌市内においても未受診妊婦を含む周産期関連の救急要請など周産期事案の搬送があります。産婦人科の分娩取り扱い施設の減少により搬送距離延長に伴い搬送中に分娩に至る事例もあります。周産期の知識を深め、病院前、救急外来、周産期で顔の見える関係を築いていきましょう。

BLSO プロバイダーコース 北海道大学医学部 ～HOPPIE～

期日:令和4年2月19日(土) 8:30～16:00(予定) 実技・試験

2月23日(火) 9:30～12:00(予定) 症例検討 ZOOM オンライン

※ e-ラーニング事前学習と両日とも参加可能な方

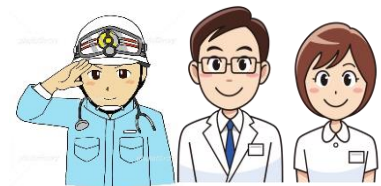
会場:北海道大学医学部学友会館 フラテ : 札幌市北区

主催:HOPPIE(北海道周産期医療救急支援の会)

共催:NPO 法人周産期医療支援機構(OPPIC)、札幌市(予定)

対象:病院前救急に携わる救急救命士、救急隊員、救急医、家庭医、看護師など

定員:6名(公募を行います、応募者多数の場合、地域や職業を考慮し選考させていただきます)



※ 本研修は、さっぽろ連携中枢都市圏(石狩管内、小樽市、岩見沢市、南幌町、長沼町)の事業として行いますので、当該地区の応募者を優先します。

今回は延期のため、前回申込者優先で公募はありません。

参加費:15,000 円(認定料含む)

申し込み方法や内容などで不明な点があればお気軽に下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

HOPPIE 事務局長:手稲溪仁会病院 母子はぐくみセンター 助産師 中居洋子

Email: n.youko.hoppie@gmail.com

HOPPIE 紹介

北海道周産期医療救急支援の会で英文表記は Hokkaido Organization for advancement of Pregnancy, Perinatal and Infant care and Emergency treatment (HOPPIE) といいます。この会は北海道の産婦人科、小児科、救急医療などの医療領域において、特定非営利活動法人周産期医療支援機構 (OPPIC) が活動権限を持つ Advanced Life Support of Obstetrics (以下 ALSO) または Basic Life Support of Obstetrics (以下 BLSO) を主とした周産期医療・救急シミュレーションコースを通じて、妊娠・出産・新生児・乳児期の医療領域に取り組む志ある医師、助産師、看護師、救急隊員等の医療従事者に対する研修を実施し、この医療領域に携わる医療従事者を育成することによって地域医療を推進し、地域住民の福祉厚生の増進に寄与することを目的としています。



新型コロナウイルスの対応について

新型コロナウイルスに対する感染予防について、換気、密集しないなどの対策が出ております。当コースと致しましても、講義間の換気と手洗い・消毒の対応を行っていく予定です。

但し、今後の感染拡大状況により、緊急事態宣言の再度の発令などの場合、コースの延期または中止を考慮しなければなりません。また、受講料の振り込み以降は教育サイトにアクセスが出来るようになり自己学習が出来、各種情報の取得が可能となりますが、開催1ヶ月前を切った段階でやむを得ず、コースの中止が決定した場合には、振り込まれた受講料を返金できません (ALSO/BLSO の本部である OPPIC の規定) よって、開催の可否については7月中旬に一旦判断をし、受講される皆様の不利益とならないよう配慮していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

皆様からのご理解・ご協力を賜りながらコース開催を目指していきたいので、宜しくお願いいたします。

<教材>

BLSO プロバイダーコースでは、下記の教材を別途各自ご購入いただいております。プレテスト、筆記試験の問題はすべてここから出題されますので、参加される方は必ず予習をお願い致します。

- 1) 日本版救急蘇生ガイドライン2020に基づく新生児蘇生法テキスト第4版
細野 茂春 監修 メディカルビュー社
- 2) 病院前救護のための産科救急トレーニングー妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法
新井 隆成 監修 中外医学社

<講義予定>

1. 受付、オープニング・デモンストレーションビデオ
2. WS 分娩介助・新生児蘇生・女性傷病者の評価
3. ランチタイム (昼食は各自持参、感染対策をとるため黙食、間隔にご協力ください)
4. まとめ/試験について案内
5. 実技試験および筆記試験、車内分娩
6. 症例検討 2月23日 (ZOOMによるオンライン講義)

※感染対策を実施しながら行います、一部 ZOOM によるオンライン受講です。

会場案内図

こちらになります
図のように管理棟正面玄関からお入りください

